

## Q 公営住宅の戸数について

A 公営住宅法に基づく住宅の拡充は考えていない（三村町長）



白築議員

Q 不況の中、定住対策として公営住宅の拡充を考える必要があると思うかどうか。

A 現在町営は満室であるが、県営は1月末時点で約50戸の空き室がある。こういう状況のため、公営住宅法に基づく住宅拡充の計画は、現在のところ考えていない。本町の住宅政策は、所得制限はあるが家賃の安い町・県営住宅や、昨年取得した公営住宅法によらず所得制限のない、コーポラス熊野へ入居いただければと考える。

## Q 中溝地区町道の通過車両増について

A 安全対策を検討し、交通事故防止に努めたい（森本建設課長）



山野議員

Q 県道矢野安浦線の渋滞のため、萩原から中溝、出来庭の町道に抜ける車両が最近多くなった。交通事故が増加してからでは遅い。早急な対策を。

A 町内の事故件数は、わずかながら増えている。事故防止対策として、時間帯による一方通行規制を海田警察署と協議したが、関係住民全員の同意が必要なことから実現は困難な状況である。今後、現地確認の上、路面表示等による注意喚起や区画線の配置などの安全対策を検討し、交通事故防止に努めたい。

## 教育部門

## Q 小学生の農業体験学習と食育教育の現況はどうか

A 農業体験を行うことで、食についてしっかりと考える教育を充実していく（加藤教育部長）



佛圓議員

Q 小学生の時代から農業に取り組み、作物の成長と収穫の喜びにより農業の楽しさと食の大切さを学ぶことが重要と考える。学校ではどのように指導をしているのか。

A 町内の小学校4校では、1・2年生でさつま芋やトマトなどを育て、5年生では米について学習している。学校農園で教員などが指導を行っているが、第二小では地域の方の水田を借り、直接地主の方の指導を受け農業体験を行っている。実際に収穫したものは食べ、その時食育に関する学習も実施している。今後も農業体験を行い、食についてしっかりと考える教育を充実していきたいと考えている。

## Q 町道の路面の凹凸について

A 順次改修工事に取り組んでいきたい（上馬場建設部長）



藤河議員

Q 町道のマンホールや消火栓ボックス等の沈下・突起により、路面に凹凸が生じている場所がかなりある。交通事故の原因になる可能性があるため、路面を整えるべきではないか。

A こうした施設の維持管理については、町民の方からの通報や、職員が気付いた箇所などについて、適宜修繕を行っている。今後、町内全域を調査し、事故発生などの危険性の高い箇所から順次改修工事に取り組んでいきたい。

## Q 県道矢野安浦線の進捗状況は

A 現時点での完成年度を明確にするのは困難である（三村町長）



馬上議員

Q 県道矢野安浦線のバイパスの計画は、阿戸分れから東中学校方面、呉地を経由して、郵便局方面でつなげると聞いているが、完成には何年ぐらいかかるか。

A 国の予算案での公共事業関係は、前年度当初比183%減のため、道路の整備事業は厳しい状況になると想定される。そのため、現時点での完成年度を明確にするのは困難である。しかし、地域の活力向上に重要な事業であるため、引き続き県と協力を図りながら実施していきたい。